

カールソン(機械翻訳):大統領閣下、どうもありがとうございました。

2022年2月24日、ウクライナでの紛争が始まったとき、あなたは自分の国と国民に演説しました。あなたは、NATOの助けを借りて、アメリカ合州国が奇襲攻撃、あなたの国への攻撃を仕掛けることができるという結論に達したので、行動していると言いました。アメリカ人にとって、それはパラノイアのようなものです。

なぜアメリカはロシアに不意打ちを食らわせることができたと思いますか?どのような経緯でこの結論に至ったのですか?

ウラジーミル・プーチン:アメリカがロシアに奇襲攻撃を仕掛けるつもりだったわけではありません。

トークショーに出ているのか、それとも真面目な会話をしているのか。

カールソン:素晴らしい言葉ですね。ありがとうございます。

真剣な会話をします。

ウラジーミル・プーチン:私の知る限り、あなたは歴史の基礎教育を受けていますよね?

カールソン:はい。

ウラジーミル・プーチン:その場合は、30秒か1分で少し歴史的背景を説明したいと思います。よろしいですか?

カールソン:もちろんです。

ウラジーミル・プーチン:ウクライナとの関係はどのように始まり、どこから来たのですか?

ロシア国家は中央集権化として集まり始め、これはロシア国家の創設の年であると考えられています - ノヴゴロド人 - 国の北西部にノヴゴロドのような都市があります - スカンジナビアからヴァリャーグ人からリューリク王子を統治に招待しました。時は862年。1862年、ロシアは建国1000周年を祝い、ノヴゴロドには建国1000周年を記念した記念碑があります。

882年、リューリクの後継者であるオレグ王子は、リューリクの幼い息子の摂政の役目を果たし、リューリクはこの時点ですでに亡くなっていたが、キエフにやってきた。彼は、かつてリューリクの従者だったと思われる二人の兄弟を権力の座から引きずり下ろし、こうしてロシアはキエフとノヴゴロドの2つの中心地で発展し始めた。

ロシアの歴史において、次の非常に重要な日付は988年です。これは、リューリクの曾孫であるウラジーミル王子がルーシに洗礼を受け、正教、東方キリスト教に改宗したロシアの洗礼です。その時から、中央集権的なロシア国家は強化され始めました。なぜでしょうか。単一の領土、単一の経済関係、1つの言語、そしてルーシの洗礼後、1つの信仰と王子の権力。中央集権的なロシア国家が形を成し始めた。

しかし、さまざまな理由により、賢者ヤロスラフが王位継承を導入した後、少し遅れて亡くなった後、王位継承は複雑になり、父から長男に直接ではなく、亡くなった王子から兄へ、そして息子へとさまざまな線に沿って受け継がれました。これらすべてが、単一の国家であるロシアの分裂につながり、単一の国家として形作られ始めました。特別なことは何もありませんが、ヨーロッパでも同じことが起こりました。しかし、分断されたロシア国家は、かつてチンギス・ハーンが築き上げた帝国の格好の餌食となった。彼の後継者であるバトゥ・ハーンはロシアにやってきて、ほとんどすべての都市を略奪し、それらを破壊しました。ところで、キエフがあった南部と、他のいくつかの都市は、単に独立を失いましたが、北部の都市は主権の一部を保持しました。彼らはHordeに貢ぎ物を捧げたが、彼らの主権の一部を保持した。そして、モスクワを中心として、単一のロシア国家が形成され始めました。

キエフを含むロシア領の南部は、ヨーロッパで形成されつつあった中心という、もう一つの"磁石

”に徐々に引き寄せられ始めた。リトアニア大公国でした。リトアニア・ロシア人とも呼ばれていましたが、これはロシア人がこの州のかなりの部分を占めていたからです。彼らは古ロシア語を話し、正教徒でした。しかし、その後、リトアニア大公国とポーランド王国が統一されました。数年後、霊的領域で別の同盟が結ばれ、正教会の司祭の中には教皇の権威に服従する者もいた。こうして、これらの土地はポーランド・リトアニア国家の一部となった。

しかし、ポーランド人は何十年にもわたって人口のこの部分のポーランド化に従事してきました：彼らはそこに彼らの言語を導入し、彼らは本当のロシア人ではなく、この地域の近くに住んでいるので、彼らはウクライナ人であるという考えを教え込み始めました。もともと「ウクライナ人」という言葉は、州の郊外、「端っこ」に住んでいる人、または実際には国境警備に従事している人を意味していました。特定の民族を意味しているわけではありません。

そのため、ポーランド人はあらゆる方法でポーランド化し、原則として、ロシアの土地のこの地域を、残酷ではないにしても、非常に厳しく扱いました。これらすべてが、ロシアの土地のこの地域がその権利のために戦い始めたという事実につながりました。そして、彼らはワルシャワに手紙を書き、彼らの権利が尊重され、キエフを含め、人々がここに送られるよう要求しました。

**カールソン:**それはいつ、何年でしたか？

**ウラジーミル・プーチン:**13世紀のことです。

次に何が起こったのかをお話しし、混乱がないように日付をお知らせします。

そして、1654年、その少し前に、ロシアの領土のこの地域で権力を支配していた人々は、繰り返しますが、ロシア出身で正教会の信仰を持つ人々をワルシャワに送るよう要求しました。そして、ワルシャワが原則的に彼らに応じず、これらの要求を事実上拒否したとき、彼らはモスクワに彼らを受け入れるように訴え始めました。

私が何かを思いついたと思われないように、これらの文書を差し上げます...

**カールソン:**あなたが何かをでっち上げているとは思いません。

**ウラジーミル・プーチン:**それでも、これらは公文書館からの文書、コピーです。これは、当時、私たちが現在ウクライナと呼んでいるロシアの土地のこの地域で権力を支配していたボフダン・フメリニツキーの手紙です。彼はワルシャワに手紙を書き、彼らの権利を尊重するよう要求し、拒否された後、モスクワに手紙を書き始め、モスクワ皇帝の強力な手の下に彼らを持って行くように頼みました。ここ [フォルダー内] には、これらのドキュメントのコピーがあります。良い思い出としてお任せします。ロシア語への翻訳があり、それを英語に翻訳できます。

ロシアは、ポーランドとの戦争が始まるという事実から出発したため、すぐに受け入れることに同意しませんでした。結局のところ、1654年、旧ロシア国家の代表機関であったゼムスキー・ソボルは、旧ロシアの土地のこの地域をモスクワ王国の一部にするという決定を下しました。

案の定、ポーランドとの戦争が始まりました。それは13年間続き、その後休戦協定が結ばれました。そして、32年後の1654年のこの法律の締結後、当時言われていた「永遠の平和」であるポーランドとの和平が結ばれたと思います。そして、これらの土地、キエフを含むドニエプル川の左岸全体がロシアに渡り、ドニエプル川の右岸全体がポーランドに残った。

その後、エカテリーナ2世の治世中に、ロシアは南部と西部を含むすべての歴史的土地を取り戻しました。これは革命まで続いた。そして第一次世界大戦前には、これらのウクライナ化の考えを利用して、オーストリア軍参謀本部はウクライナとウクライナ化の考えを非常に積極的に推進し始めました。なぜなら、世界大戦の前夜には、もちろん、潜在的な敵を弱体化させたいという願望があり、国境地帯で自分たちに有利な条件を作り出したいという願望があったからです。そして、かつてポーランドで生まれた、この地域に住んでいる人々は実際にはロシア人ではなく、おそらく特別

な民族グループであるウクライナ人であるという考えは、オーストリアの参謀本部によって推進され始めました。

19世紀には、ウクライナ独立の理論家も登場し、ウクライナの独立の必要性を説いた。しかし、ウクライナ独立のこれらすべての「柱」は、ロシアと非常に良好な関係を持つべきだと言い、これを主張したのは事実です。しかし、1917年の革命後、ポリシェヴィキは国家の地位を回復しようとし、ポーランドとの戦争を含む内戦が勃発した。1921年にポーランドと平和条約が結ばれ、ドニエプル川右岸の西部は再びポーランドに割譲された。

1939年、ポーランドがヒトラーに協力し、ポーランドがヒトラーに協力し、ヒトラーがポーランドとの和平、友好同盟条約を締結することを提案した後、ポーランドはドイツの主要地域とケーニヒスベルクおよび東プロイセンを結ぶ、いわゆるダンツィヒ回廊をドイツに返還するよう要求しました。第一次世界大戦後、領土のこの部分はポーランドに与えられ、ダンツィヒの代わりにグダニスク市が現れました。ヒトラーは彼らに平和的に彼らをあきらめるよう懇願したが、ポーランド人は拒否した。それにもかかわらず、彼らはヒトラーに協力し、チェコスロバキアの分割に協力しました。

**カールソン**(以下、カールソン):お聞きしてもよろしいですか?ウクライナの一部は、実際には何百年もの間、ロシアの土地だったとおっしゃいます。24年前に大統領に就任した時、なぜそれを受け取らなかったのですか?武器も持ってたのね。なぜそんなに長く待ったのですか?

**ウラジーミル・プーチン**:この歴史的言及を終わらせようとしています。退屈かもしれませんが、多くのことを説明しています。

**カールソン**:退屈ではありません。

**ウラジーミル・プーチン**:それは素晴らしいことです。そして、あなたがそれをとても高く評価してくれたことをとても嬉しく思います。ありがとうございました。

それで、第二次世界大戦前に、ポーランドがドイツに協力し、ヒトラーの要求に従うことを拒否したとき、それでもチェコスロバキアの分割にヒトラーと一緒に参加しましたが、ダンツィヒ回廊をあきらめなかったため、ポーランド人はそれを強制し、彼らは遊んで、ヒトラーに彼らと一緒に第二次世界大戦を始めることを強制しました。なぜ1939年9月1日にポーランドから戦争が始まったのですか?彼女は難治性であることが判明しました。ヒトラーは、ポーランドで開始する計画を実行する以外に選択肢がありませんでした。

ところで、ソ連は、私は公文書を読みましたが、非常に正直に振る舞い、ソ連はチェコスロバキアを支援するためにポーランドに軍隊を派遣する許可を求めました。しかし、当時のポーランド外務大臣は、ソ連の飛行機がポーランド領内を通過してチェコスロバキアに向かって飛んでも、ポーランド領上空で撃墜されるだろうと述べた。まあ、それは問題ではありません。そして重要なことは、戦争が始まり、今やポーランド自身が、チェコスロバキアに対して追求した政策の犠牲者になったということです。こうして、ロシアはソビエト連邦の名の下に、その歴史的領土に戻った。

大祖国戦争の勝利後、私たちが言うように、第二次世界大戦、これらすべての領土は最終的にロシア、ソビエト連邦に割り当てられました。そしてポーランドは、その代償として、おそらく西部の原始的なドイツ領土、つまりドイツの東部、土地の一部、これらは今日のポーランドの西部地域を手に入れたと思われます。そしてもちろん、彼らはバルト海へのアクセスを取り戻し、再びポーランド語で呼ばれるようになったダンツィヒに戻りました。そんな状況になってしまいました。

1922年にソビエト連邦が成立すると、ポリシェヴィキはソビエト連邦を形成し始め、これまでまったく存在していなかったソビエト・ウクライナを創設しました。

**カールソン**:その通りです。

**ウラジーミル・プーチン:**同時に、スターリンは、形成されつつあるこれらの共和国を自治組織として含めるべきだと主張しましたが、なぜかソ連国家の創始者であるレーニンは、ソ連から脱退する権利を持つべきだと主張しました。そして、また、理由は不明だが、彼は、新興のソビエト・ウクライナに、これらの領土に住んでいた土地、これらの領土に住んでいた人々を、たとえ彼らが以前にウクライナと呼ばれたことがなかったとしても、何らかの理由で、彼らが形成されたとき、これらすべてが、エカテリーナ2世の時代に受け取られた黒海地域全体を含むウクライナ SSR に「統合」され、実際には、ウクライナと歴史的な関係がなかった。

これらの領土がロシア帝国に戻った1654年にさかのぼっても、ウクライナには3つか4つの近代的な地域があり、そこには黒海地域はありませんでした。話すことは何もなかった。

**カールソン:**1654年ですか?

**ウラジーミル・プーチン:**ええ、その通りです。

**カールソン:**あなたは百科事典的な知識を持っています。しかし、なぜ大統領就任後の最初の22年間、このことについて語らなかったのでしょうか?

**ウラジーミル・プーチン:**ソビエト・ウクライナは、主に黒海地域など、全く関係のない膨大な領土を手に入れました。かつて、ロシアが露土戦争の結果としてそれらを受け取ったとき、それらはノヴォロシアと呼ばれました。しかし、それは問題ではありません。大事なのは、ソビエト国家の創始者であるレーニンが、このようにウクライナをつくりだしたということだ。こうして、何十年もの間、ウクライナ社会主義共和国連邦はソ連の一部として発展し、ボリシェヴィキもまた、理由は不明だが、ウクライナ化に従事していた。ソビエト連邦の指導部にウクライナからの移民がいたからという理由だけでなく、一般的にはそのような政策があり、それは「土着化」と呼ばれていました。これはウクライナや他の連邦共和国にも当てはまる。国語や文化が導入されましたが、これは一般的には悪いことではありません。しかし、これがソビエト・ウクライナが作られた方法だ。そして第二次世界大戦後、ウクライナは戦前のポーランド領土の一部だけでなく、今日では西ウクライナ、ハンガリー領土の一部、ルーマニア領土の一部を受け取りました。ルーマニアとハンガリーもいくつかの領土を奪われ、これらの領土はソビエト・ウクライナの一部となり、現在もそこにある。それゆえ、もちろん、ウクライナは、ある意味では、スターリンの意志によって作り出された人工国家であると言うに足る十分な理由がある。

**カールソン:**ハンガリーには土地を取り戻す権利があると思いますか?そして、他の国々は自分たちの土地を取り戻し、おそらくウクライナを1654年の国境に戻すことができるのだろうか?

**ウラジーミル・プーチン:**1654年の国境については知りません。スターリンの支配の時代はスターリン主義体制と呼ばれ、人権侵害、他国の権利侵害が多かったと誰もが言います。もちろん、この意味では、彼らがそうする権利を持っていると言わなければ、彼らのこれらの土地を返還することは十分に可能です。

**カールソン:**オルバンに、ウクライナの土地の一部を取り戻せると言いましたか?

**ウラジーミル・プーチン:**私は一度もそう言ったことはありません。決して、決して。それについての会話もありませんでした。しかし、そこに住んでいるハンガリー人は、もちろん、歴史的な故郷に帰りたいたいと思っているのは事実です。

さらに、私はあなたに非常に興味深い話をします、私は脱線します、これは個人的な話です。1980年代初頭、私はレニングラードからサンクトペテルブルクまで車で移動し、ソビエト連邦を經由し、キエフ、キエフ、そして西ウクライナを旅しました。私は街に入り、ベレゴヴォと呼ばれ、ロシア語と私には理解できない言語であるハンガリー語で都市や町の名前がすべて書かれています。ロシア語とハンガリー語で。ウクライナ語ではなく、ロシア語とハンガリー語で。

ある村を車で走っていると、黒いスリーピースのスーツに黒いシルクハットをかぶった男たちが家の近くに座っていた。「この人たちはアーティストなの?」と。「いや、彼らは芸術家ではなく、ハンガリー人だ」と。私は言った、彼らはここで何をしているのだろうか?なぜ、ここは彼らの土地で、彼らはここに住んでいるのか。すべてのタイトル!ソビエト時代、80年代。ハンガリー語、名前、民族衣装はすべて保存されています。彼らはハンガリー人であり、ハンガリー人のように感じます。そしてもちろん、今、不利な状況が出てきたら...

**カールソン:**ええ、そういうことはたくさんあると思います。おそらく、多くの国は、20世紀以前の変化期とそれ以前の国境の変更に不満を持っています。しかし、実際には、2022年2月まで、あなたは以前にこのようなことを言ったことはありませんでした。そして、NATOからの物理的な脅威、特に核の脅威を感じ、それが行動を促したとおっしゃいました。私はあなたを正しく理解していますか?

**ウラジーミル・プーチン:**私の長い対話は、おそらくこのジャンルのインタビューには属しないと理解しています。ですから、冒頭でお聞きしたのですが、真面目な会話をするのか、それともショーをするのか。真面目な話だとおっしゃいましたね。だから、私に怒らないでください。

我々は、ソビエト・ウクライナが創設された瞬間に来ている。そして1991年、ソビエト連邦が崩壊しました。そして、ウクライナがロシアからの贈り物として受け取ったものはすべて、「主の肩から」、それとともに引きずり込まれた。

私は今、今日の非常に重要なポイントに来ています。結局のところ、このソ連の崩壊は、実際、ロシア指導部によって始められたのだ。当時のロシア指導部の動機が何だったのかはわかりませんが、すべてがうまくいくと考える理由はいくつかあったのではないかと思います。

まず、ロシアの指導部は、ロシアとウクライナの関係の根本的な基盤から出発したと思います。実際、共通言語であるロシア語は、90%以上がロシア語を話していました。家族の絆、3人に1人が何らかの親族関係、友情を持っている。一般的な文化;一般的な歴史;最後に、共通の宗教です。何世紀にもわたって単一の国家の枠組みの中で共通の存在。経済は相互に密接に関連しており、これらすべてがとても基本的なものです。これらすべてが、両国の良好な関係の必然性の基礎である。第二に、アメリカ市民として、そして視聴者の皆さんにも、このことを聞いてもらいたいのですが、以前のロシア指導部は、ソ連は存在しなくなり、イデオロギー的な境界線はもはや存在しないという前提から出発しました。ロシアは自発的かつ積極的にソ連を崩壊させるところまで行ったが、これはいわゆる「文明化された西側」によって、協力と同盟の提案として理解されるだろうという仮定から出発している。これこそが、ロシアがアメリカ合州国と、いわゆる西側諸国全体の両方に期待していたことだ。

ドイツも含めて、賢い人たちがいました。エゴン・バルは社会民主党の主要政治家であり、ソビエト連邦崩壊前のソ連指導部との会談で、ヨーロッパに新たな安全保障体制を構築する必要があると個人的に主張した。ドイツが統一するのを助ける必要がありますが、米国、カナダ、ロシア、その他の中欧諸国を含む新しいシステムを作る必要があります。しかし、NATOは拡大する必要はない。彼は、もしNATOが拡大すれば、全てが冷戦時代と同じになるだろうが、それはロシア国境に近づいただけだと述べた。それです。祖父は頭が良かった。誰も彼の言うことを聞かなかった。その上、彼は一度怒ったことがあり、アーカイブにもこんな会話があります:もしあなたが私の言うことを聞かなければ、私は二度とモスクワに来ないだろうと彼は言いました。彼はソビエト指導部に腹を立てていた。彼は正しかったし、そう言った。

**カールソン:**ええ、もちろん、彼の言葉は現実のものとなり、あなたは何度もこのことを言っていますが、これは絶対に公平だと思います。また、米国内の多くの人々は、ソ連崩壊後、ロシアと米

国の関係は正常になると考えていた。しかし、逆のことが起こっています。

しかし、なぜこれが起こったと思うのか、なぜそれが起こったのか、あなたは一度も説明していません。そう、欧米は強いロシアを恐れているかもしれないが、欧米は強い中国を恐れてはいない。**ウラジーミル・プーチン**:ロシアには1億5000万人、中国には15億人の人口があり、中国経済は年率5%以上で飛躍的に発展しているため、西側は強いロシアよりも強い中国を恐れています。しかし、中国にとってはそれで十分だ。ビスマルクはかつて、潜在能力が最も重要であると言いました。中国の潜在力は巨大で、購買力平価と経済規模において、今日、世界で初めての経済大国です。すでにアメリカを追い抜いて久しく、そのペースはどんどん上がっています。

私たちは、誰が誰を恐れているかを言うつもりはありませんし、そのような言葉で話すつもりもありません。そして、1991年以降、ロシアが「文明国」の兄弟家族に受け入れられることを期待していたとき、そのようなことは何も起こらなかったという事実について話しましょう。あなた方は我々を騙した - 私が「あなた方」と言うとき、もちろん、あなた方個人ではなく、アメリカ合州国を意味している - あなた方は、NATOの東方拡大は行わないと約束したが、これは5回、5回の拡大の波が起こった。私たちはすべてに耐え、すべてを説得し、言いました:それをしないでください、私たちは今私たち自身のものです、彼らが言うように、ブルジョアジー、私たちには市場経済があり、共産党の力はありません、合意に達しましょう。

さらに、私はすでにこのことについて公に話した - エリツィンの時間をとろう - 「灰色の猫が通り過ぎた」瞬間があった。その前に、エリツィンはアメリカ合州国に行き、議会で演説し、素晴らしい言葉を言ったことを思い出してください:アメリカに神のご加護がありますように。彼は全てを言った、それは合図だった、入らせてくれ。

いや、ユーゴスラビアでの出来事が始まったとき... それ以前に、エリツィンはユーゴスラビアでの出来事が始まるやいなや、セルビア人のために声を上げ、セルビア人を擁護する声を上げずにはいられなかった。複雑なプロセスがあったことは理解しています。しかし、ロシアはセルビア人のために声を上げずにはいられませんでした、なぜなら、セルビア人は特別な国でもあり、私たちに近い国であり、正教会の文化などだからです。まあ、何世代にもわたって長く苦しんできた民族ですからね。まあ、それは問題ではないが、重要なことは、エリツィンが支持を表明したことだ。アメリカは何をしたのか?国際法と国連憲章に違反して、ベオグラード爆撃が始まった。

アメリカ合州国は、この精霊を瓶から出した。また、ロシアが異議を唱え、憤りを表明したとき、何と言われたのでしょうか。国連憲章と国際法は時代遅れです。今、誰もが国際法に言及していますが、その後、彼らはすべてが時代遅れであり、すべてを変える必要があると言いはじめました。力の均衡が変わったので、いくつかのことを変える必要があるのは事実ですが、このようにはいきません。ところで、彼らはすぐにエリツィンに泥を投げ始め、彼はアルコール依存症であり、何も理解しておらず、理解していないことを指摘しました。彼はすべてを理解し、すべてを理解していました、私はあなたに保証します。

ええといいです。2000年に社長に就任しました。ユーゴスラビア問題は終わった、関係を修復し、ロシアが通過しようとした扉を開く必要がある、と私は考えました。さらに、私はこれを公に言いました、繰り返すことができますが、ここクレムリンでの退任するビル・クリントンとの会談で、まさにここ、隣の部屋、私は彼に尋ねました:聞いてください、ビル、あなたはどう思いますか、もしロシアがNATO加盟の問題を提起した場合、それは可能だと思いますか?突然、彼は「面白いね、そう思うよ」と言いました。そして夕方、夕食の席で会ったとき、彼はこう言いました:私は私のチームと、私のチームと話をしました - いや、今は不可能です。彼に聞いてみれば、彼は私たちのインタビューを聞いて確認してくれると思います。あれがなかったら、あんなこと言わなかった

でしょう。さて、それは今は不可能です。

**カールソン:**その時、あなたは誠実でしたか?NATO に加盟しますか?

**ウラジーミル・プーチン:**聞いてください、私は質問をしました:これは可能ですか?そして、答えは「ノー」でした。もし私が指導者の立場を知りたいという不誠実な願望を持っていたら...

**カールソン:**もし彼がイエスと言ったら、あなたは NATO に加盟していたと思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**もし彼がイエスと言っていたら、和解のプロセスが始まっていたでしょうし、パートナーの真摯な願望を見れば、最終的には和解が実現したかもしれません。しかし、それだけでは終わらなかった。まあ、いやいや、まあまあ。

**カールソン:**それはなぜだと思えますか?その背景にはどのような動機があるのでしょうか。このことについて苦々しく思っているのはわかります。しかし、なぜ西側諸国があなたをそれほど遠ざけたと思えますか?この敵意はどこから来るのでしょうか?なぜ関係改善できなかったのですか?その動機は何だったと思えますか?

**ウラジーミル・プーチン:**あなたは、私とその答えについて苦々しく思っていると言いました。いや、それは苦味ではなく、ただの事実の陳述だ。私たちは新郎新婦ではありませんし、恨みや恨みはそのような場合に起こる物質ではありません。ただ、彼らがそこで私たちを待っていないことに気づいた、それだけです。わかったわかった。しかし、別の方法で関係を築き、共通点を探しましょう。なぜこのような否定的な反応を受けたのか、あなたはあなたのマネージャーに尋ねる必要があります。その理由は、国が大きすぎて、独自の意見を持っている、などと推測することしかできません。アメリカ合州国に関しては、NATO で問題がどのように解決されるかを見てきました。

もう一つ、ウクライナを例に挙げます。アメリカ指導部は「圧力をかけ」、NATO 加盟国は皆、たとえ気に入らないことがあっても、素直に投票する。この点に関して、2008 年にウクライナに何が起こったのかをお話ししますが、それは議論されていますが、ここでは新しいことは何も言いません。それでも、その後はさまざまな方法で関係を築こうとしました。例えば、中東やイラクで事件がありました。米国とは、非常に穏やかに、冷静に関係を築いていました。

私は、米国が北コーカサスにおける分離主義やテロリズムを支持していないという問題を繰り返し提起してきました。しかし、彼らはとにかくそれを続けました。政治的支援、情報支援、財政支援、さらには軍事的支援までもが、コーカサスのテロリスト集団に対するアメリカ合州国とその衛星国からもたらされた。

私の同僚であり、米国大統領でもある私は、かつてこの問題を提起しました。「そんなはずはない。証拠はあるか?」私は「はい」と答えます。私はこの会話の準備ができていて、彼にこの証拠を渡しました。彼はそれを見て、彼が何を言ったか知っていますか?申し訳ありませんが、そういうことだったのです、引用します、彼は言った、まあ、私は彼らのケツを蹴るつもりです。返事を待ったが、返事はなかった。

私は FSB 長官に「CIA に手紙を書いてください。大統領との会話の結果はどうですか?」と言いました。一度、二度と書いて、返事をもらった。アーカイブに答えがあります。答えは CIA から出た:我々はロシアの反政府派と協力関係にあった。私たちは、これが正しいことだと信じており、野党と協力し続けます。おかしいです。大丈夫です。会話がないうちに気づいたのです。

**カールソン:**あなたへの反対ですか?

**ウラジーミル・プーチン:**もちろん、これは分離主義者、コーカサスで我々と共に戦ったテロリストを意味しています。それが私たちが話していた人です。彼らはそれを反対と呼んだ。これが 2 点目です。

第 3 の点は、非常に重要なことですが、米国のミサイル防衛システムの構築、その始まりです。私

私たちは長い間、米国にこのようなことをしないよう説得しようとしてきました。また、ブッシュ・ジュニアの父親であるブッシュ・シニアに招かれて、海で彼を訪ねた後、私はブッシュ大統領と彼のチームと非常に真剣な会話をしました。私は、米国、ロシア、欧州が共同でミサイル防衛システムを構築することを提案しましたが、米国はイランからのミサイルの脅威に対して作成されていると公式に述べているにもかかわらず、一方的に作成されており、私たちの安全を脅かしています。これは、ミサイル防衛システムの作成を正当化するものでもありました。私は、ロシア、米国、ヨーロッパの3カ国で仕事をするのを提案しました。とてもおもしろいとおっしゃっていました。「本気ですか?」と聞かれました。私は「その通り」と答えます。

**カールソン:**それはいつ、何年でしたか?

**ウラジーミル・プーチン:**覚えていません。これは、私がブッシュ・シニアの招待で米国にいたときにインターネットで見つけるのは簡単です。調べるのはさらに簡単ですが、今から誰から教えてあげましょう。

「これはとても面白い」と言われました。安全保障の分野におけるこのようなグローバルな戦略的課題を一緒に解決したらどうなるか想像してみてください。世界は変わります。恐らく、経済的、さらには政治的な論争が起きるでしょうが、世界の状況を根本的に変えるでしょう。彼は「はい」と答えました。「本気ですか?」と聞かれました。私は「もちろん」と答えます。考えてみる必要がある、と私は聞いています。私は「どういたしまして」と言いました。

その後、ゲーツ国防長官、元CIA長官、ライス国務長官が、今私たちが話しているこのオフィスに来ました。こっちの、このテーブルの反対側に、このテーブルが見えて、こっち側に座った。私、ロシアの外務大臣と国防大臣は反対側にいます。彼らは私にこう言いました:ええ、私たちはそれについて考えました、私たちは同意しました。私は、神に感謝します、それは素晴らしいことです、と言いました。「しかし、いくつかの例外を除いては」

**カールソン:**では、アメリカ大統領が、ある決定を下し、その後、そのチームが、その決定を頓挫させたと、二度もおっしゃっていますね。

**ウラジーミル・プーチン:**その通りです。結局、私たちは退場させられました。間違っていたと思うので詳細は省きますが、結局のところ、それは秘密の会話でした。しかし、私たちの提案が却下されたのは事実です。

その時、私は「見ろ、でも報復しなきゃいけない」と言いました。ミサイル防衛システムを確実に打ち破る攻撃システムを構築します。答えはこうだった:我々はあなた方に対してそれをやっているのではなく、あなた方は、それが我々に対してではなく、アメリカ合州国に対してではないという前提から、あなた方が望むことをしているのだ。私は「わかりました」と答えます。行った。また、極超音速システムや大陸間航続距離を開発し、開発を続けています。極超音速攻撃システムの開発は、米国をはじめとする各国に先駆けて進められており、日々改良が進められています。

しかし、私たちはそれをせず、反対の道を行くことを提案しましたが、脇に追いやられました。さて、NATOの東方拡大についてです。まあ、彼らは約束した:我々が言われたように、東に、東に1インチ、NATOは存在しないだろう。それから何ですか。彼らは言った:まあ、彼らはそれを紙に載せなかったのだから、私たちはそれを拡張します。5つの拡張には、バルト諸国、東ヨーロッパ全体などが含まれていました。

そして今、私は主要なことに来ます:私たちはウクライナに着きました。2008年、ブカレストでの首脳会談で、NATOへの扉はウクライナとグルジアに開かれていると発表された。

では、そこでどのように意思決定が行われるかについてお話ししましょう。ドイツとフランスは、他のいくつかのヨーロッパ諸国と同様に、それに反対しているようでした。しかし、後になってわ

かったことですが、ブッシュ大統領は、とてもタフな人で、タフな政治家で、後で聞いた話ですが、彼は私たちに圧力をかけ、私たちは同意せざるを得ませんでした。おかしな話ですが、幼稚園ではこんなに簡単なことでしょうか。保証はどこにありますか?ここはどんな幼稚園で、どんな人たちで、どんな人なのか。ほら、彼らは「押されて」同意したのです。そして、彼らはこう言う:ウクライナはNATOに加盟しないだろう。私は、わからないと言います。2008年に合意したことは知っていますが、なぜ将来同意しないのですか?「じゃあ、あいつらは俺たちに圧力をかけてきたんだ」私は言った:なぜ彼らは明日あなたに圧力をかけないのか——そうすれば、あなたは再び同意するだろう。それはナンセンスです。誰に相談すればいいのかわかりません。私たちは話す準備ができています。しかし、誰と?保証はどこにありますか?いいえ。

これは、彼らがウクライナの領土を開発し始めたことを意味します。そこに何があったにせよ、私はこの領土がどのように発展したか、ロシアとどのような関係があったかという裏話をしました。2人か3人に1人は、常にロシアと何らかのつながりを持っています。そして、独立宣言の結果として独立を勝ち取った、独立した主権国家ウクライナでの選挙中に、ところで、ウクライナは中立国家であるとそこに書かれており、2008年にNATOへの扉、または門が突然開かれました。おもしろい映画です!私たちはそれについて意見が一致しませんでした。ですから、ウクライナで権力を握ったすべての大統領は、何らかの形でロシアに対して良い態度をとっていた有権者に依存していました。ここはウクライナの南東部で、大勢の人が住んでいます。そして、ロシアに対して肯定的な態度をとっていたこの有権者を「殺す」ことは非常に困難でした。

ヴィクトル・ヤヌコーヴィチが権力の座に就き、クチマ大統領になって初めて勝ったのは、ウクライナ憲法に規定されていない第3回投票だった。これはクーデターだ。アメリカで誰かがあなたを嫌っていたと想像してみてください。

カールソン:2014年です。

ウラジーミル・プーチン:いいえ、以前は。いやいや、昔はそうだった。クチマ大統領の後、ヴィクトル・ヤヌコーヴィチが選挙に勝利した。しかし、彼の反対派はこの勝利を認めず、米国は反対派を支持し、第3ラウンドを指名しました。それはなんですか。これはクーデターだ。米国は彼を支持し、彼は第3ラウンドの結果として権力の座に就いた...合衆国の誰かが何かを気に入らず、合衆国憲法に規定されていない第3ラウンドを組織したと想像してみてください。それにもかかわらず、彼らはあそこ(ウクライナ)でそれを成し遂げた。さて、親欧米の政治家と考えられていたヴィクトル・ユシチェンコが権力の座に就いた。さて、しかし、私たちは彼との関係も築き上げ、彼はモスクワを訪問し、私たちはキエフに行き、私は行きました。私たちは非公式の場で会いました。西洋、それでいい。そのままにしておきますが、人は働きます。この状況は、独立したウクライナ自体で、国内で発展しなければならない。彼が国を掌握した後、状況は悪化し、ヴィクトル・ヤヌコーヴィチがついに権力の座に就いた。

もしかしたら、彼は最高の大統領でも政治家でもなかったのかもしれないが、私にはわからないし、評価はしたくないが、欧州連合との関係の問題が浮上した。しかし、私たちは常にこれに非常に忠実でした。しかし、連合協定を読むと、ウクライナと自由貿易地域があり、税関国境が開いており、ウクライナはこの連合の下でヨーロッパに国境を開放することになっていて、すべてが私たちの市場に流れ込んでいたので、これは私たちにとって問題であることがわかりました。

「いや、それならうまくいかないだろう。そうすれば、ウクライナとの国境、税関の国境を閉鎖する」と。ヤヌコーヴィチは、ウクライナがどれだけ得をし、どれだけ失うかを計算し始め、ヨーロッパのカウンターパートたちにこう宣言した。彼が発言するやいなや、西側に支援された反政府勢力の破壊的な行動が始まり、すべてがマイダンとウクライナのクーデターにもたらされた。

**カールソン:** 言い換えれば、彼は欧州連合 (EU) やウクライナよりもロシアと多く取引していたということですか?

**ウラジーミル・プーチン:** もちろんです。貿易量が多いですが、取引量ですらありません。要は、ウクライナ経済全体が支えている協力関係にある。企業間の協力関係は、ソビエト連邦の時代から非常に緊密でした。そこでは、ある企業がロシアとウクライナの両方で最終組み立て用の部品を製造し、その逆も同様でした。私たちはとても親密な関係を築いていました。

彼らはクーデターを実行したが、我々はアメリカ合州国から来たのだが、今は詳細には触れないが、それは間違っていたと思うが、それでも言われた: あなたはそこでヤヌコーヴィチを落ち着かせ、我々は反対派を落ち着かせる。すべてを政治的解決の道に沿って進めましょう。私たちは、よし、同意する、これをやろう、と言いました。ヤヌコーヴィチは、アメリカが我々に要求したように、軍隊や警察を使わなかった。そして、キエフの反政府武装勢力はクーデターを起こした。これはどういう意味ですか? そもそもお前は誰だ? 当時の米国の指導者にお伺いしたいと思います。

**カールソン:** 誰の協力を得て?

**ウラジーミル・プーチン:** もちろん、CIA の支援を受けてです。かつて働きたかった組織ですね。たぶん、彼らがあなたを連れて行かなかったことを神に感謝します。これは真面目な組織ですが、私が第一総局で働いていたという意味で、私の元同僚は理解しています。彼らは常に我々の敵だった。仕事は仕事です。

技術的には、彼らはすべてを正しく行い、彼らが望むことを成し遂げました - 彼らは政府を変えました。しかし、政治的な観点から見ると、これは大きな間違いです。もちろん、政治指導部は十分なことをしてこなかった。政治指導部は、これがどこへ向かうのかを見極めるべきだった。

そこで 2008 年、私たちはウクライナのために NATO への扉を開きました。2014 年にクーデターが起こり、クーデターであるクーデターを認めない人々が迫害されるようになり、クリミアが脅威となり、私たちはクリミアを保護下に置くことを余儀なくされました。彼らは 2014 年にドンバスで戦争を開始し、民間人に対して航空と砲兵を使用した。結局のところ、それがすべての始まりです。上空からドネツクを攻撃する飛行機の映像がある。われわれは一つの大規模な軍事作戦に着手したが、失敗に終わり、彼らはいまだに準備中である。そして、この領土の軍事的発展と NATO への門戸の開放を背景にしています。

何が起きているのかを気にしないでいられるでしょうか。それは私たちの側の犯罪的な不注意でしょう - それがそれです。アメリカ合州国の政治的リーダーシップが、ロシア自体を破壊していたので、もはや越えることのできない一線に私たちを追いやってただけです。そして、われわれは、われわれの共同宗教主義者、そして実際、ロシア国民の一部を、この戦争機構の下に放り込むことはできなかった。

**カールソン:** 言い換えれば、紛争が始まる 8 年前です。そして、この一步を踏み出さなければならぬと決心したとき、この葛藤を引き起こしたものは何ですか?

**ウラジーミル・プーチン:** 当初、ウクライナでのクーデターが紛争を引き起こしました。

ところで、ヨーロッパ三カ国、ドイツ、ポーランド、フランスの代表がやってきて、ヤヌコーヴィチ政権と反政府派の間で調印された協定の保証人だった。彼らは保証人として署名を入れます。それにもかかわらず、野党はクーデターを実行し、これらすべての国は、自分たちが平和的解決の保証人であるという事実について何も覚えていないふりをしました。彼らはすぐにそれをストーブに投げ込みました、誰も覚えていません。

アメリカ合州国が、野党と当局の間のこの合意について、そして、このプロセスを政治の現場に戻す代わりに、クーデターを支持した 3 人の保証人について、何か知っているかどうかはわかりませ

ん。しかし、それは意味をなさなかった、私を信じてください。ヤヌコーヴィチ大統領は全てに同意したので、正直言って、勝てる見込みのない早期選挙の準備ができていた。それは誰もが知っていたことです。

しかし、なぜクーデターが起きたのか、なぜ犠牲者なのか?なぜクリミアへの脅威が必要なのか?なぜ彼らはドンバスで活動を始めたのですか?それは私には理解できません。そこに誤算があります。CIAはクーデターを遂行する上でその仕事をした。そして、国務副長官の一人は、これに多額のお金、ほぼ50億ドルを費やしたと言ったと思います。しかし、政治的な過ちは甚大だ。なぜこのようなことが必要だったのでしょうか?合法的に、死傷者を出さず、軍事作戦を開始せず、クリミアを失わずに済んだはずだ。そして、マイダンでの血なまぐさい出来事がなかったら、私たちは指一本動かさなかったでしょう。

ソビエト連邦の崩壊後、連邦共和国の国境に沿って、すべてがこのようになるべきだということで合意したからです。私たちはそれに賛成しました。しかし、我々はNATOの拡大に同意したことは一度もないし、ましてやウクライナがNATOに加盟することに合意したこともない。我々は、我々との対話なしに、そこにNATOの基地があることに同意しなかった。私たちは何十年もの間、これをしないで、あれをしないでくれと懇願してきました。

そして、最近の出来事のきっかけは何だったのでしょうか?まず第一に、ウクライナの現指導部は、ご存じの通り、2014年のミンスクでの出来事の後に調印されたミンスク合意には従わないと表明しており、そこではドンバスでの平和的解決計画が概説されています。いや、今日のウクライナの指導部、外務大臣、その他すべての高官、そして大統領自身は、これらのミンスク合意の何も気に入らないと言った。言い換えれば、彼らはそれを実行するつもりはありません。そして、ドイツとフランスのかつての指導者たちは、1年か1年半前に、全世界に対して、正直に、ミンスク合意に署名したが、決して実行するつもりはなかったと公然と言った。私たちはただ鼻に導かれました。**カールソン:** 国務長官や大統領と話しましたか?もしかしたら、あなたと話するのが怖かったのかもしれない。そして、もし彼らがウクライナに武器を送り込み続けるなら、あなたは行動するだろうと彼らに言いましたか?

**ウラジーミル・プーチン:** 私たちはこのことについて、いつも話してきました。我々は、米国及び欧州諸国の指導者に対し、このプロセスを直ちに停止し、ミンスク合意を履行するよう訴えた。率直に言って、どうやってやるのかわからなかったけど、やる準備はできていた。彼らはウクライナにとって困難であり、ドンバスには多くの独立の要素があり、これらの領土では想定されていましたが、これは本当です。しかし、ドンバスに住んでいる人々を説得することができれば、ウクライナ国家の枠組みに戻るよう説得されなければならないと心から信じていました。徐々に、領土のこの部分が経済生活、一般的な社会環境に戻り、年金と社会保障が支払われるとき、すべてが徐々に一緒に成長します。いや、誰もそんなことを望んでおらず、誰もが軍事力の助けを借りてのみ問題を解決したかったのです。しかし、私たちにはそんな余裕はありませんでした。

そして、ウクライナが「いや、私たちは何もしない」と宣言したとき、この状況に至りました。軍事作戦の準備も始まっている。彼らは2014年に戦争を始めた。私たちの目標は、この戦争を終わらせることです。そして、2022年に始めたのではなく、それを止めようとする試みなのです。

**カールソン:** 今、あなたはそれを止めることができましたか?目標は達成しましたか?

**ウラジーミル・プーチン:** いいえ、目標の一つが非ナチ化ですから、私たちはまだ目標を達成していません。私が言っているのは、すべてのネオナチ運動の禁止です。これは、昨年年初めにイスタンブールで終了した交渉プロセスで議論された問題の一つですが、私たち、特にヨーロッパ人は、文書の最終署名のための条件を作る必要があると言われたので、私たちのイニシアチブでは完了し

ませんでした。フランスとドイツの私の同僚は、「彼らがどのように契約に署名するか想像できますか?寺院に銃を持って。キーウから軍隊を撤退させる必要がある」と述べた。私は「わかりました」と答えました。我々はキエフから部隊を撤退させた。

我々がキエフから軍隊を撤退させるやいなや、ウクライナの交渉担当者は、イスタンブールで合意した全ての合意を即座にゴミ箱に捨て、アメリカ合州国とヨーロッパの衛星国の助けを借りて、長期にわたる武力衝突に備えた。状況の展開はこうだ。そして、これが今の様子です。

**カールソン:**非ナチ化とは何ですか?これはどういう意味ですか?

**ウラジーミル・プーチン:**今、このことについてお話ししたいと思います。これは非常に重要な質問です。

非ナチ化。独立後、ウクライナは、西側の一部のアナリストが言うように、そのアイデンティティを探し始めた。そして彼女は、ヒトラーに協力した偽りの英雄たちを、このアイデンティティの最前線に据えること以上に、何も思いつかなかった。

19世紀初頭、ウクライナの独立と主権の理論家が現れたとき、彼らは、独立したウクライナはロシアと非常に良好で良好な関係を持つべきだという前提から出発したことは、すでに述べた。しかし、歴史的発展のために、これらの領土がポーランド・リトアニア連邦とポーランドの一部であったという事実のために、ウクライナ人は非常に残酷に迫害され、没収され、このアイデンティティを破壊しようとし、非常に残酷に振る舞いました。第2次世界大戦が勃発すると、この非常に国家主義的なエリートの一部は、ヒトラーが彼らに自由をもたらすと信じて、ヒトラーに協力し始めました。ドイツ軍は、親衛隊でさえも、ヒトラーに協力した協力者に、ポーランド人、ユダヤ人を絶滅させるという汚い仕事を任せました。それゆえ、ポーランド人、ユダヤ人、ロシア人に対するこの残忍な虐殺も行われた。先頭には有名な人物がいました:バンデラ、シュヘビッチ。国民的英雄になったのは、この人たちです。それが問題です。そして、ナショナリズムやネオナチズムは他の国にも存在すると常に言われています。たしかに芽はあるが、我々はそれを潰しているし、他の国でも潰されている。しかし、ウクライナでは、いや、ウクライナでは、彼らは国民的英雄にされ、記念碑が建てられ、国旗に掲げられ、ナチス・ドイツのように、松明を持って歩く群衆によって彼らの名前が叫ばれている。ポーランド人、ユダヤ人、ロシア人を絶滅させたのは彼らです。私たちはこの実践と理論を止める必要があります。

もちろん、どの国でも、それは成長しました、何人かの人々はそこで信じています...これは一般のロシア国民の一部だと私は言うが、彼らは言う:いや、我々は別の民族だ。わかったわかった。もし誰かが自分を別の民族だと考えるなら、その人にはそうする権利があります。しかし、ナチズム、ナチスのイデオロギーに基づいてではありません。

**トーマス・カールソン:**あなたはすでに持っている領土に満足しますか?

**ウラジーミル・プーチン:**もう終わりにします。ネオナチズムと非ナチ化について質問されました。例えば、ウクライナ大統領がカナダにやってきて、これはよく知られているが、西側では黙っているし、議会の議長が言ったように、第二次世界大戦中にロシアと戦った男がカナダ議会に紹介された。第二次世界大戦中にロシア人と戦ったのは誰ですか?ヒトラーと彼の取り巻き。この男は武装親衛隊に所属し、ロシア人、ポーランド人、ユダヤ人を個人的に殺害していたことが判明した。ウクライナの民族主義者から結成された武装親衛隊は、この汚い仕事をした。ウクライナ大統領はカナダ議会全体とともに起立し、この男性に拍手を送りました。これはどのように想像できますか?ちなみに、ウクライナの大統領は国籍的にユダヤ人です。

**カールソン:**それについてどうするつもりですか?ヒトラーが死んでから80年が経ち、ナチス・ドイツはもはや存在しない、それは本当だ。あなたは、このウクライナ・ナショナリズムの火を消し

たいとおっしゃいます。どうやってやるの？

**ウラジーミル・プーチン:**私の話を聞いてください。あなたの質問は非常に微妙です...そして、私が思うことを言ってもいいですか?気分を害しませんか?

**カールソン:**もちろん違います。

**ウラジーミル・プーチン:**デリケートな質問のようで、とても厄介です。

ヒトラーがいなくなってから 80 年が経ちました。しかし、彼の作品は生き続けています。ユダヤ人、ロシア人、ポーランド人を絶滅させた人々はまだ生きています。そして、今日のウクライナの現大統領は、カナダ議会で彼に拍手を送り、スタンディングオベーションを送っています!このイデオロギーを完全に根こそぎにしたと、今日私たちが目にしていることが起きているのなら、どうして言えるのでしょうか?これが、私たちが理解している非ナチ化です。私たちは、この理論と実践を人生に残し、それを守ろうとする人々を排除する必要があります - これが非ナチ化です。そういう意味です。

**カールソン:**いいですね。もちろん、私はナチズムやネオナチズムを擁護しているわけではありません。しかし、私の質問は実際的な観点からです:あなたは国全体を支配しているわけではなく、国全体を支配したいと思っているように私には思えます。しかし、それなら、自分がコントロールできない国のイデオロギー、文化、感情、歴史を根こそぎにすることができるのでしょうか?これはどのように実現できますか?

**ウラジーミル・プーチン:**奇妙に思えるかもしれませんが、イスタンブールでの会談で、私たちは、ネオナチズムは、立法レベルで禁止されることを含め、ウクライナでは育たないことで合意しました。

カールソンさん、私たちはこれに同意しました。これは、交渉の過程で行うことができることがわかりました。そして、近代的な文明国家としてのウクライナにとって、屈辱的なものは何もありません。ナチスをプロパガンダする国家はあるのか?そうでしょう。それです。

**カールソン:**会談は行われますか?そして、なぜウクライナでの紛争を解決するためのそのような交渉、つまり和平交渉が行われなかったのでしょうか?

**ウラジーミル・プーチン:**彼らはそこにおいて、この複雑なプロセスの立場を調整する非常に高い段階に達していますが、それらはほぼ完了しています。しかし、我々がキエフから軍隊を撤退させた後、既に述べたように、反対側のウクライナは、これらすべての合意を破棄し、西側諸国、ヨーロッパ諸国、アメリカ合州国の指示を受け入れ、ロシアと最後まで戦うことになった。

さらに、ウクライナ大統領は、ロシアとの交渉を法的に禁止している。彼は、ロシアとの交渉を禁じる法令に署名した。しかし、もし彼が自分自身を禁じ、すべての人を禁じたとしたら、私たちはどのように交渉するつもりなのでしょう?彼がこの和解についていくつかのアイデアを提唱していることを私たちは知っています。でも、何かに合意するためには、対話が必要ですよね。

**カールソン:** ええ、しかし、あなたはウクライナ大統領と話すのではなく、アメリカ大統領と話すでしょう。ジョー・バイデンと最後に話したのはいつですか?

**ウラジーミル・プーチン:**いつ彼と話したかは覚えていません。覚えてないけど、見てみて。

**ティム・カールソン:**覚えていませんか?

**ウラジーミル・プーチン:**いや、全部覚えておかないといけないのか?やることはたくさんあります。国内の政治問題もあります。

**カールソン:** しかし、彼はあなた方が遂行している戦争に資金を提供しています。

**ウラジーミル・プーチン:** ええ、彼は資金を提供していますが、私が彼と話した時、それはもちろん、特別軍事作戦が始まる前でした、そしてところで、私はその時、彼に言いました - 私は詳細

には立ち入りません、私は決してこんなことはしません - しかし、私はその時彼に言いました:私は、ロシアを追い払うことによって、ウクライナで起こっているすべてのことを支援することによって、歴史的な規模の大きな間違いを犯していると信じています。私は彼にそのことを話しました - ところで、私はそれを何度も言いました。私はそれが正しいと思います - ここではこれに限定します。

**カールソン:**彼は何と言いましたか?

**ウラジーミル・プーチン:**彼に聞いてみてください。それはあなたにとって簡単です:あなたは合衆国の市民です、行って彼に尋ねてください。私たちの会話について私がコメントすることは不適切です。

**カールソン:**しかし、2022年2月以降、彼と話していませんか?

**ウラジーミル・プーチン:**いいえ、私たちは話していません。しかし、私たちには特定の連絡先があります。ところで、ミサイル防衛システムについて協力するという私の提案についてお話ししたことを覚えていますか?

**カールソン:**はい。

**ウラジーミル・プーチン:**彼ら全員に尋ねることができます - 神に感謝します、彼らは皆、健在です。元大統領、コンドリーザ(・ライス)は健在で、ゲイツ氏、そして現在の中央情報局(CIA)長官のバーンズ氏は、当時駐ロシア大使で、非常に成功した大使だったと思います。彼らは皆、これらの会話の目撃者です。彼らに聞いてみてください。

ここでも同じで、バイデン大統領が私に何と言ったのか疑問に思っているなら、彼に聞いてみてください。いずれにせよ、私たちは彼とそれについて話しました。

**ティム・カールソン:**これはよく理解できますが、外部から見ると、これらすべてが、全世界が戦争の瀬戸際に立たされ、おそらく核攻撃さえももたらす状況になりかねないように見えるかもしれません。バイデンに電話して、「どうにかしてこの問題を解決しよう」と言わないのはどうでしょうか。

**ウラジーミル・プーチン:**何を決断すべきか?それはそれと同じくらい簡単です。先ほど申し上げたように、私たちはさまざまな部署に人脈を持っています。この件に関して我々が言っていること、そして我々がアメリカの指導部に伝えていることをお話しします:もし本当に敵対行為を止めたいのなら、武器の供給を止める必要があります - すべてが数週間以内に終わるでしょう、それだけです、そして、あなたはいくつかの条件に同意することができます、そして、あなたがそうする前に、それを止めてください。

どちらが簡単ですか?なぜ彼に電話する必要があるのですか?何を話せばいいのか、何を頼むのか?「ウクライナにこれこれの兵器を供給するつもりか。ああ、怖い、怖い、供給しないでくれ」何を話せばいいの?

**カールソン:**NATOは、これが世界戦争や核戦争に発展する可能性を懸念していると思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**いずれにせよ、これが連中が言っていることであり、連中は想像上のロシアの脅威で国民を威嚇しようとしている。これは明白な事実です。そして、考える人々 - 普通の人々ではなく、考える人々、アナリスト、本当の政治に従事している人々、ただの賢い人々 - は、これが偽物であることを完全によく理解しています。ロシアの脅威は増大している。

**カールソン:**例えば、ポーランドやラトビアに対するロシアの侵略の脅威を意味していますか?ロシア軍をポーランドに派兵するシナリオを想像できますか?

**ウラジーミル・プーチン:**ポーランドがロシアを攻撃した場合です。なぜでしょうか。なぜなら、ポーランドにも、ラトビアにも、他のどこにも利害関係がないからです。なぜそれが必要なのです

か?ただ、何の利害関係もないのです。脅威だけ。

**カールソン:**議論は、皆さんもよくご存じだと思いますが、そうです、彼はウクライナを侵略し、大陸全体の領土を主張しています。そのような領有権主張はないと明言しているのですか。

**ウラジーミル・プーチン:**これは全く問題外です。アナリストである必要はなく、ある種の世界戦争に巻き込まれるのは常識に反する。そして、世界大戦が起これば、全人類が絶滅の危機に瀕するでしょう。それは明らかです。

もちろん、抑止力があります。明日はロシアが戦術核兵器を使うだろう、明日はこれを使うだろう、いや、明後日だ、と、誰もがいつも怯えていた。だから何なのですか。これらは、ウクライナの作戦戦域でのロシアとの対決で、アメリカの納税者を叩きのめし、ヨーロッパの納税者から追加の金を叩き出すための、普通の人々にとっての恐怖の物語に過ぎない。目標は、ロシアを可能な限り弱体化させることです。

**カールソン:**上院議員の一人、チャック・シューマーが昨日、ウクライナへの資金提供を続ける必要があり、さもなければ、結局、アメリカ兵はウクライナではなく、ウクライナで戦わなければならないだろうと言ったと思います。この発言についてどう思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**これは挑発であり、安っぽい挑発です。なぜアメリカ兵がウクライナで戦わなければならないのか理解できません。アメリカからの傭兵がいます。傭兵のほとんどがポーランド出身で、2位はアメリカ出身、3位はジョージア出身です。もし誰かが正規軍を送り込もうとすれば、それは間違いなく人類を非常に深刻な世界規模の紛争の瀬戸際に追いやることになる。それは明らかです。

米国はこれを必要としているのか?何のため。国土から何千キロも離れている!やることがない?国境には多くの問題があり、移民の問題があり、33兆ドル以上の国家債務の問題があります。ウクライナで戦う必要があるのか?

ロシアと合意した方が良いのではないのでしょうか?現在の状況を理解し、ロシアが最後まで自国の利益のために戦うことを理解し、それを理解した上で常識に立ち返り、わが国とその利益を尊重し、何らかの解決策を模索し始めるべきでしょうか。その方がずっと賢く、合理的だと私には思えます。

**カールソン:**ノルドストリームを爆破したのは誰ですか?

**ウラジーミル・プーチン:**もちろんです。(会場笑)

**カールソン:**その日は忙しかったです。私はノルドストリームを爆破したのではない。

**ウラジーミル・プーチン:**あなたにはアリバイがあるかもしれませんが、CIAにはそのようなアリバイはありません。

**カールソン:** NATO や CIA がこれをやったという証拠はありますか?

**ウラジーミル・プーチン:**詳細は省きますが、そのような場合、彼らはずっと「興味を持っている人を探しろ」と言います。しかし、この場合、興味を持っている人だけでなく、それができる人を探する必要があります。なぜなら、多くの利害関係者がいるかもしれないが、誰もがバルト海の底に登ってこの爆発を実行できるわけではないからだ。この2つの要素、つまり、誰が興味を持ち、誰ができるのかを組み合わせる必要があります。

**カールソン:**でも、よくわかりません。これは史上最大の産業テロ行為であり、さらにCO<sub>2</sub>の放出としては最大である。大気中に。しかし、諜報機関からの証拠があるという事実を考えると、なぜそのような証拠を提示して、このプロパガンダ戦争に勝たないのですか?

**ウラジーミル・プーチン:**プロパガンダ戦争でアメリカ合州国を打ち負かすのは非常に難しい、なぜならアメリカ合州国は世界の全てのメディアと多くのヨーロッパのメディアを支配しているからだ。ヨーロッパ最大のマスコミの最終的な受益者は、アメリカの資金だ。あなたはこのことに気

づいていませんか?したがって、この作業に参加することは可能ですが、彼らが言うように、それはより高価です。情報源を公開するだけでは、成果は得られません。何が起こったのかは、すでに全世界に明らかであり、アメリカのアナリストでさえ、直接そう言っている。ほんとですか。

**トーマス・カールソン:** ええ、しかしここで質問です - あなたはドイツで働いていましたが、これはよく知られており、ドイツは NATO のパートナーがこれを行ったことをはっきりと理解しています、もちろん、それはドイツ経済に打撃を与えました - では、なぜドイツ人は沈黙しているのですか?なぜドイツ人はこの問題で何も言わなかったのか?

**ウラジーミル・プーチン:** これも驚きです。しかし、今日のドイツの指導部は、国益ではなく、西側集団の利益によって導かれており、そうでなければ、彼らの行動や不作為の論理を説明することは難しい。結局のところ、爆破されたノルドストリーム 1 だけの問題ではありません。ノルドストリーム 2 は被害を受けましたが、パイプラインは 1 本健在で、ヨーロッパにガスを供給できるのに、ドイツは開通しません。準備は万端です。

ポーランドを通る別のルート、ヤマル-ヨーロッパがあり、これも大きな流れを実行できます。ポーランドはそれを閉鎖したが、ポーランドはドイツの手から噛み砕かれ、汎ヨーロッパ基金から資金を受け取っており、これらの汎ヨーロッパ基金への主要な資金提供者はドイツである。ドイツはポーランドにある程度養っている。そして、彼らはドイツへのルートを閉鎖しました。何のため。理解できません。

ドイツが武器を供給し、資金を提供しているウクライナ。ウクライナへの財政支援では、米国に次ぐ第 2 のスポンサーはドイツです。2 つのガスルートがウクライナの領土を通過します。彼らは一つのルートを取り、ウクライナ人、それを単に閉鎖した。2 番目のルートを開き、ロシアからガスを入手してください。彼らはそれを開かない。

なぜドイツ人はこう言わないのか: 「いいか、みんな、我々はお前たちに金と武器を与えている。バルブを緩めて、ロシアからガスを流してください。欧州で液化ガスを法外な値段で買うことで、競争力や経済全体がゼロになってしまいます。お金をくれませんか?普通に暮らして、経済を機能させれば、そこからお金をくれる」いいえ、そうではありません。なぜでしょうか。彼らに聞いてみてください。(テーブルを叩く音) ここにあるものと、彼らの頭の中にあるものは、同じものです。その人々は非常に無能です。

**カールソン:** もしかしたら、世界は今、2 つの半球に分かれているのかもしれませんが: 1 つは安価なエネルギーを持つ半球、もう 1 つはエネルギーのない半球です。

質問したいのですが、今、私たちは多極化した世界を持っていますが、同盟、ブロック、誰が誰の側にいるかについて、あなたの意見で説明していただけますか?

**ウラジーミル・プーチン:** 聞いてください、あなたは世界は二つの半球に分かれているとおっしゃいました。頭は 2 つの半球に分かれており、1 つは 1 つの活動領域を担当し、もう 1 つはより創造的な領域を担当しています。しかし、それはまだ 1 つの頭です。世界が団結し、安全保障が共通であることが必要であり、この「黄金の 10 億」のために設計されるべきではありません。そうして初めて、世界は安定し、持続可能で、予測可能なものとなるのです。そして、頭が二つに分かれている限り、それは病気であり、深刻な病気です。世界は今、深刻な病気の時期を迎えています。しかし、誠実なジャーナリズムのおかげで、彼ら(ジャーナリスト)は医者のように働いているので、もしかしたら、このすべてをどうにかして結びつけることができるのではないかと私には思えます。

**カールソン:** 例を挙げましょう。米ドルは多くの点で全世界を団結させてきました。ドルは基軸通貨として消滅すると思いますか?制裁は世界におけるドルの地位をどのように変えたのか?

**ウラジーミル・プーチン:**ご存知の通り、これはアメリカの政治指導部が犯した最も重大な戦略的過ちの一つです - 外交政策闘争の道具としてドルを利用したことです。ドルは米国の権力の基盤である。これは皆さんもよくご存じだと思いますが、何ドル印刷しても世界中に散らばっています。米国のインフレ率は最小限で、3%、約 3.4%だと思いますが、これは米国にとって全く許容できることです。もちろん、それらは際限なく印刷されます。33 兆ドルの債務とはどういう意味ですか?それは排出物です。

それにもかかわらず、それは世界における米国の力を維持するための主要な武器です。政治指導部がドルを政治闘争の道具として使うと決めたとたん、彼らはこのアメリカの権力に打撃を与えた。文学的でない表現は使いたくありませんが、これは愚かであり、大きな間違いです。

世界で何が起きているかを見てください。米国の同盟国の間でさえ、ドル保有は今、減少している。誰もが何が起きているのかを見て、自分自身を守る方法を探し始めます。しかし、米国が入植制限や資産凍結などの制限措置をとれば、これは全世界にとって大きな警鐘であり、シグナルです。

いったい何が起きていたのでしょうか?2022 年まで、ロシアの対外貿易決済の約 80%はドルとユーロでした。同時に、第三国との和解の約 50%をドルが占めていましたが、今は 13%しか残っていないと思います。しかし、私たちはドルの使用を禁止したわけではなく、そうしなくなかったのです。米国は、ドルでの支払いを制限することを決定しました。これは、アメリカ合州国自身の利益、つまりアメリカの納税者という観点から見ると、全くナンセンスだと思います。それは米国経済に打撃を与え、世界における米国の力を損なうからです。

ちなみに、人民元での支払いは約 3%でした。現在、34%をルーブルで支払い、ほぼ同じ金額の 34%強を人民元で支払っています。

なぜ米国はこのようなことをしたのか?思い込みとしか言いようがありません。何もかもが崩れると思っていたのですが、何も崩れませんでした。さらに、産油国を含む他の国々は話し合いを始めており、すでに石油の販売代金を人民元で支払っています。これが起きていることを理解していますか、それとも理解していませんか?アメリカでこれを理解している人はいますか?何をしていますか。あなたは自分自身を断ち切っています...すべての専門家、アメリカ合州国の賢明で思慮深い人に聞いてみてください:アメリカ合州国にとってのドルは何ですか?あなたは彼自身を殺しているのです。

**カールソン:**これは妥当な評価だと思います。

次の質問です。もしかしたら、あなたはある植民地権力を別の植民地権力と交換したかもしれませんが、もっと寛容ですか?BRICS は今、より親切な宗主国である中国に支配される危機に瀕しているのだろうか?これは主権にとって良いことだと思いますか?これについて心配していますか?

**ウラジーミル・プーチン:**我々は、これらの恐ろしい話をよく知っています。ホラーストーリーです。我々は中国と隣国である。近所の人や近親者は選ばれません。私たちは彼らと何千キロもの国境を共有しています。これが 1 点目です。

第二に、私たちは何世紀にもわたって一緒に暮らすことに慣れてきました。

第三に、中国の外交政策哲学は非攻撃的であり、中国の外交政策思想は常に妥協点を模索しており、我々はこれを見ている。

次のポイントは、以下の通りです。私たちはいつも言われていますが、あなたはこの恐ろしい話を穏やかな形で提示しようとしたのですが、それでもそれは同じ恐ろしい話です:中国との協力の量は増えています。中国の対欧州協力の成長率は、ロシア連邦の対中協力の成長率よりも大きく、高い。ヨーロッパ人に聞いてみよう:彼らは恐れていないのか?多分彼らは恐れているのでしょうか、

私にはわかりませんが、彼らは何としても中国市場に参入しようとしています、特に彼らが今経済の問題に直面しているとき。そして、中国企業はヨーロッパ市場を開拓しています。

米国では中国ビジネスが足りないのか?そう、政治的な決定は、中国との協力を制限しようとしているようなものだ。タッカーさん、あなた自身の不利益のために、あなたはあなた自身の不利益のためにそれをしているのです:中国との協力を制限することによって、あなたは自分自身を傷つけているのです。これはデリケートな分野であり、ドルのように単純な線形解はありません。

したがって、国連憲章の観点から違法な制裁を課す前に、慎重に考える必要があります。私の意見では、これは意思決定者にとっての問題です。

**カールソン:** さっき、もし互いに競合する2つの同盟が存在しなければ、今日の世界ははるかに良い場所になるだろうとおっしゃいました。もしかしたら、あなたがおっしゃるように、あなたが信じているように、現在のアメリカ政権はあなたに反対しているかもしれませんが、アメリカの次の政権、ポストバイデン政権は、あなたとの関係を築きたがるでしょうし、あなたも彼らとの関係を築きたいと思うでしょう。それとも関係ないのでしょうか?

**ウラジーミル・プーチン:** 今からお話しします。

しかし、前の質問を終えるために。米国には2,000億ドルの資金があり、同僚であり友人でもある習近平国家主席と私は、今年の中貿易額が2,000億ドルに達するという目標を掲げました。そして、私たちはこのハードルを超えました。私たちのデータによると、中国の統計によると、すでに2,300億ドル、2,400億ドルで、すべてをドルで数えると、中国との貿易売上高があります。

そして、非常に重要なことは、バランスの取れた貿易売上高があり、ハイテク部門、エネルギー部門、科学研究の分野で互いに補完し合っていることです。とてもバランスが取れています。

BRICS全体について言えば、ロシアは今年からBRICSの議長国を務めているが、BRICS諸国は非常に急速に発展している。

誤解のないように言うとおくと、1992年には世界経済に占めるG7諸国のシェアは47%だったと思いますが、2022年には30%強にまで落ち込んだと思います。1992年のBRICS諸国のシェアはわずか16%だったが、今やG7の水準を超えている。そして、これはウクライナでのいかなる出来事とも関係ありません。世界と世界経済の発展の動向は、今申し上げたようなものであり、これは避けて通れないことです。これは起こり続けるでしょう:太陽が昇るにつれて、それを防ぐことは不可能です、あなたはそれに適応しなければなりません。

米国はどのように調整していますか?武力の助けを借りて:制裁、圧力、爆撃、武力の使用。それは傲慢さと関係があります。あなたの政治エリートの人々は、世界が客観的な状況によって変化していることを理解しておらず、誰かがある程度の支配を望んでいるとしても、自分のレベルを維持するためには、有能に、時間通りに、タイムリーに正しい決定を下す必要があります。ロシアや他の国々に対するものも含めて、このような粗雑な行動は、逆の結果をもたらす。これは明白な事実であり、今日すでに明らかになっています。

あなたは今私に尋ねました:別のリーダーが来て何かを変えるのでしょうか?リーダーの話でもなければ、特定の人々の性格の話でもありません。私は、例えばブッシュと非常に良い関係を築いていました。アメリカでは、彼は何も知らない田舎の少年として描かれていたのを知っています。そうではないと断言します。ロシアに関して多くの過ちを犯したと思います。2008年、ブカレストでNATOへの扉を開くという決定、ウクライナなどについてお話ししました。それは彼の下で起こり、彼はヨーロッパ人に圧力をかけました。

しかし、一般的には、人間的なレベルでは、私は彼と非常に良い関係を築いていました。彼は、他のアメリカ、ロシア、ヨーロッパの政治家と何ら変わらない。私はあなたに保証します、彼は他の

人と同じように、自分が何をしているのかを理解していました。私はトランプととても個人的な関係を持っていました。

リーダーの性格ではなく、エリートの気分です。どんな犠牲を払っても支配するという考えがアメリカ社会に蔓延し、強引な行動の助けを借りても、何も変わらないだろう。そして、最終的に、世界が客観的な状況によって変化していることに気づき、米国が今日も持っている利点を利用して、時間内にそれに適応できるようになる必要があるとすれば、おそらく、何かが変わる可能性があります。

中国経済は購買力平価で世界第 1 位の経済大国となり、数量では米国をとっくに追い抜いています。次いで米国、15 億人のインド、5 位は日本、ロシアです。過去 1 年間で、ロシアはあらゆる制裁や制限にもかかわらず、ヨーロッパで最初の経済国になりました。これは正常だと思いますか？制裁、制限、ドルでの支払いの不可能性、SWIFT からの切断、石油を運ぶ船舶に対する制裁、航空機に対する制裁など、あらゆるもの、あらゆる場所での制裁です。世界で最も多くの制裁がロシアに対して適用されています。そして、この時期にヨーロッパで最初の経済国となりました。

アメリカ合州国が使っている道具は機能しない。さて、私たちは何をすべきかを考える必要があります。もしこの認識が支配層エリートにもたらされれば、そう、国家元首は、有権者や様々なレベルで決定を下す人々が彼に何を期待しているかを見越して行動するだろう。そうすれば、何かが変わる可能性があります。

**カールソン:**あなたは 2 つの異なるシステムを説明していますが、リーダーは有権者の利益のために行動するが、同時に、いくつかの決定は支配階級によって行われるとおっしゃっています。あなたは長年国を率いてきましたが、あなたの経験から、アメリカでは誰が決定を下すと思いますか？

**ウラジーミル・プーチン:**分かりません。アメリカは複雑な国であり、一方では保守的であり、他方では急速に変化しています。これを理解するのは簡単ではありません。

選挙で決定を下すのは誰ですか？各州には独自の法律があり、各州がそれを規制し、州レベルで選挙から誰かを排除できる場合、これをどのように理解できるでしょうか。これは二段階の選挙制度であり、私たちにとって非常に理解しにくいものです。もちろん、共和党と民主党の 2 つの政党が支配的です。そして、この政党制度の枠組みの中で、決定を下し、決定を準備するセンターがあります。

では、私の考えでは、ソ連崩壊後、なぜこのような見当違いで粗雑で、全く不当な圧力政策がロシアに対して行われたのでしょうか。結局のところ、これは圧力の政策です。NATO の拡大、コーカサスの分離主義者への支援、ミサイル防衛システムの構築は、すべて圧力の要素だ。圧力、圧力、圧力...そして、ウクライナの NATO への引きずり込みがある。すべてはプレッシャー、プレッシャーです。なぜでしょうか。

これも、いわば余剰生産能力をつくったからだだと思います。ソビエト連邦との闘争の間、ソビエト連邦に関する多くのセンターと専門家が設立されましたが、それ以外には何もできませんでした。彼等には、彼等は、ロシアを叩き潰し続け、それを破壊しようと試み、この領土に幾つかの準国家組織を作り、分割された形で彼らを征服し、将来の中国に対する闘争のために彼らの結合された潜在能力を使う必要があると、政治指導部を説得しようとしているように見えた。これは、とりわけ、ソビエト連邦に立ち向かうために働いた人々の過度の可能性による間違いです。私たちはこれを取り除く必要があります - 私たちは新しい、新鮮な力、未来に目を向け、世界で何が起こっているのかを理解する人々を持つ必要があります。

インドネシアがどのように発展しているかをご覧ください!6 億人。そこから逃れるにはどうすればいいのでしょうか?どこにも。私たちは、インドネシアが好むと好まざるとにかかわらず、世界

の主要経済国のクラブに加わるという仮定から出発する必要があります。

はい、あらゆる経済問題にもかかわらず、米国の状況は依然として正常であり、経済は2.5%のGDPとまともな成長を遂げているという事実を私たちは理解し、認識しています。

しかし、未来を守るためには、変化に対するアプローチを変える必要があります。先ほど申し上げたように、ウクライナでの出来事がどのような結末を迎えようとも、世界は変わるでしょう。世界は変化しています。アメリカでは、専門家が「アメリカは世界の中での立場を少しずつ変えてきている」と書いていて、あなたの専門家が書いて、私も読んでいます。唯一の問題は、それがどのように起こるかです:痛みを伴うように、急速に、または軽度に、徐々に?そして、これは反米的ではなく、世界の発展の傾向を追っている人々によって書かれています。それです。それらを評価し、政策を変えるためには、政治のリーダーシップのレベルで考え、先を見据え、分析し、意思決定を提言できる人材が必要です。

**カールソン:**お聞きしたいことがあります。NATOの拡大は約束を破り、自国にとって脅威であることを明確にしました。しかし、ウクライナに軍隊を派兵する前、安全保障会議で、アメリカ副大統領は、ウクライナ大統領のNATO加盟を支持しました。これがとりわけ敵対行為を引き起こしたと思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**もう一度言いますが、私たちは、2014年のクーデター後にウクライナで生じた問題の平和的解決を模索することを繰り返し提案してきました。しかし、誰も私たちの話を聞いてくれませんでした。さらに、アメリカ合州国の完全な支配下にあったウクライナ指導部は、突然、ミンスク合意に従わないと宣言し、ミンスク合意は何も気に入らないと宣言し、この領土での軍事活動を続けた。同時に、NATOの軍事組織は、様々な訓練・再訓練センターを装って、この領土を開発していた。実際、彼らはそこに基地を作り始めました。それです。

ウクライナでは、彼らは、ロシア人は、法律が可決されたが、名目上の国ではないと宣言し、同時に、名目上の国ではない国の権利を制限する法律を可決した。ウクライナで。ウクライナは、これら南東部の領土を、ロシア国民からの贈り物として受け取ったが、突然、この領土のロシア人は名目上の国ではないと宣言した。大丈夫です。これらすべてが組み合わさって、2014年にウクライナでネオナチによって開始された戦争を武力手段で終わらせるという決定が下されました。

**カールソン:**ゼレンスキーには、この紛争の解決を交渉する自由があると思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**分かりません。もちろん、細かいところまでは自分で判断しづらいです。しかし、少なくともそうだったと思います。彼の父親は、第二次世界大戦中にナチスと戦ったのですが、私はそのことについて彼と話したことがあります。「ヴォロディヤ、何してるの?お父様がファシズムと戦った今、なぜウクライナのネオナチを支持するのですか?彼は最前線の兵士だ」彼が何を言ったかは言いませんが、これは別のトピックであり、間違っていると思います。

しかし、選択の自由に関する限り、なぜそうしないのでしょうか?彼は、ウクライナを平和に導くというウクライナ国民の期待に基づいて権力の座に就いた。それが彼が話していたことであり、それが彼が大差で選挙に勝った理由です。しかし、私が権力の座に就いたとき、私は2つのことに気づいたと思います。まず第一に、ネオナチやナショナリストと喧嘩しない方が良いです、なぜなら彼らは攻撃的で非常に活発だからです。そして第二に、米国を筆頭とする西側諸国は彼らを支持し、利益と安全を約束するロシアと戦っている人々を常に支援する。そこで彼は、ウクライナでの戦争を終わらせることを国民に約束したにもかかわらず、相応の立場をとった。彼は有権者を騙した。

**カールソン:**2024年2月の今、彼はあなたの政府と話し、何らかの形で彼の国を助けようとする自由があると思いますか?彼は自分でそれを行うことができますか?

**ウラジーミル・プーチン:**なぜですか?彼は自分を国家元首だと考えており、選挙に勝った。私たち

ロシア人は、2014年以降に起こったことはすべてクーデターであり、この意味では現政権にも欠陥があると信じています。しかし、彼は自分を大統領だと考えており、それゆえに、アメリカ合衆国、ヨーロッパ全土、そして事実上、世界の他の国々から認められている。なぜ駄目なのですか。彼にはできる。

我々はイスタンブールでウクライナと交渉し、我々は同意し、彼はそれについて知っていた。しかも、交渉団長のアラカミアさんは、彼の苗字だと思いますが、今でも与党の派閥の長、ラダの大統領の党の長です。彼は今でも国会の Verkhovna Rada の大統領派閥の長であり、今もそこに座っている。彼は、私が話している文書に仮署名さえしました。しかし、その後、彼は全世界に向けて公に言った：「我々はこの文書に署名する準備ができていたが、当時の英国首相ジョンソン氏がやってきて、我々を説得し、ロシアと戦う方が良いと言った。ロシアとの衝突で失ったものを取り戻せるように、彼らは私たちにすべてを与えてくれるでしょう。そして、私たちはその提案に同意したのです」彼の発言を見てください。彼はそれを公に言いました。

彼らはそれに返ることが出来ますか、それとも戻らないのですか?問題は、彼らがそうしたいかどうかです。その後、ウクライナ大統領は、我々との交渉を禁止する命令を出した。彼にこの法令を廃止させれば、それだけです。交渉を拒んだことは一度もありません。ロシアは準備ができていますのか、準備はできているのか、という声を私たちはいつも耳にします。はい、私たちは拒否しませんでした!彼らは公然と拒否した。さて、彼に彼の命令を取り消して交渉に入らせてください。私たちは決して拒否したことはありません。

そして、彼らがジョンソン元英国首相の要求や説得に従ったという事実は、私にはばかげているように思えますし、どう言えば、非常に悲しいことです。なぜなら、アラカミア氏が言ったように、「1年半前なら、我々はこれらの敵対行為を止め、この戦争を止めることができたはずなのに、イギリスが我々を説得し、我々はそれを拒否した」からだ。ジョンソン氏は今どこにいますか?そして、戦争は続いている。

**カールソン:**いい質問ですね。なぜ彼はそれをしたのですか?

**ウラジーミル・プーチン:**彼が一体何を知っているのか、私にはわかりません。一般的な態度がありました。どういうわけか、誰もが、ロシアは戦場で打ち負かすことができるという幻想を抱いている——傲慢さから、純粋な心からではあるが、偉大な心からではない。

**カールソン:**あなたはロシアとウクライナの関係の説明し、ロシアを正教会の国と表現し、これについて話しました。これは何を意味するのでしょうか?あなたは、ご自身を描写しているように、キリスト教国の指導者です。これはあなたにどのような影響を与えますか?

**ウラジーミル・プーチン:**すでに述べたように、**ウラジーミル王子**は988年に洗礼を受け、彼自身も祖母のオリガ王女の例に倣って洗礼を受け、その後、従者に洗礼を授け、それから数年かけて徐々にロシア全土に洗礼を授けました。異教徒からキリスト教徒に至るまで、それは長い道のりであり、長い年月を要しました。しかし、結局のところ、ロシア国民の意識に深く根ざしているのは、正教、東方キリスト教なのです。

ロシアがイスラム教、仏教、ユダヤ教を信仰する他の民族を拡大し、吸収した時、ロシアは常に他の宗教を信仰する人々に非常に忠実でした。それが強みです。これは絶対に明らかです。

そして事実、私が今述べたすべての世界の宗教、それはロシア連邦の伝統的な宗教であり、実際、主要なテーマでは、基本的な価値観は、同じではないにしても、非常によく似ています。そして、ロシア当局は、ロシア帝国にやってきた人々の文化と宗教に常に非常に注意を払ってきました。私の考えでは、これがロシア国家の安全と安定の基盤である。なぜなら、ロシアに住むすべての人々は、基本的にロシアを祖国と見なしているからです。

例えば、人々がラテンアメリカやヨーロッパからあなたのところにやってくるとしたら、もっと明確で分かりやすい例ですが、人々はやってきますが、彼らは歴史的な故郷からあなたやヨーロッパ諸国にやって来ているのです。そして、ロシアで異なる宗教を信仰する人々は、ロシアを自分たちの祖国だと考えており、彼らには他の祖国がないのです。私たちは一緒にいて、一つの大きな家族です。そして、私たちの伝統的な価値観は非常によく似ています。「一つの大きな家族」と言いましたが、みんな自分の家族がいて、それが社会の基盤です。そして、祖国と家族は非常に相互に結びついていると言うなら、これは事実です。なぜなら、国全体、祖国のために、正常で持続可能な未来を保証しなければ、自分の子供や家族の正常な未来を保証することは不可能だからです。ロシアで愛国心が発達しているのはそのためです。

**カールソン:**宗教は違います。事実、キリスト教は非暴力的な宗教であり、キリストは「もう片方の頬を向けよ」、「殺すなかれ」などと言っています。そして、指導者が他の誰かを殺さなければならないのに、どうしてクリスチャンになれるのでしょうか?これを自分の中でどのように折り合いをつけることができますか?

**ウラジーミル・プーチン:**自分自身と家族、祖国を守ることに關しては、とても簡単です。私たちは誰かを攻撃しているわけではありません。ウクライナでの出来事はどのように始まりましたか?クーデターから、ドンバスでの敵対行為の始まりから、それが起こったのです。そして、私たちは国民、私たち自身、祖国、そして未来を守っています。

宗教全般について言えば、外見が問題でもなく、毎日教会に行ったり、床に頭をぶついたりすることでもありません。それは心の中にあります。そして、私たちには人間中心の文化があります。ドストエフスキーは、ロシア文化とロシア文学の天才として西側で非常によく知られているが、このことについて、ロシアの魂について多くを語っている。

結局のところ、西洋社会はより現実的です。ロシア人、ロシア人は、永遠なるものについてもっと考え、道徳的価値についてもっと考える。私にはわからないし、同意しないかもしれないが、西洋文化はもっと実用的だ。これが悪いことだとは言いませんが、今日の「ゴールデン・ビリオン」は、科学などの分野でも、生産において良い成功を収める機会を与えています。それは何も悪いことではなく、私たちは同じように見えるが、心が少し違うと言っているだけです。

**カールソン:**言い換えれば、ここには超自然的な何かが働いているとお考えですか?あなたがたがこの世で起こっていることを見るとき、あなたは主の働きを見ているだろうか。ここには超人的な力が働いていると自分に言い聞かせていますか?

**ウラジーミル・プーチン:**いいえ、正直に言うと、私はそうは思いません。国際社会は、それぞれの内なる法則に従って発展していると思いますし、それが現実のものになっていると思います。それから逃れることはできません、それは人類の歴史の中で常にそうでした。一部の民族や国は、立ち上がり、増殖し、強化され、そして、慣れ親しんだ能力で国際舞台を去りました。同じ大群の征服者から始まり、チンギス・ハーン、黄金の大群、そして偉大なローマ帝国で終わる。人類の歴史の中で、偉大なローマ帝国のようなものは他になかったようです。

それにもかかわらず、野蛮人の可能性は徐々に蓄積され、蓄積され、そして彼らの打撃の下でローマ帝国は崩壊しました、野蛮人の数が増えたので、彼らは全体的に発展し始め、今私たちが言うように、経済的に、彼らは強化し始めました。そして、偉大なローマ帝国によって世界に押し付けられた体制は崩壊しました。確かに、崩壊するまでには長い時間がかかりました - 500年、この偉大なローマ帝国の崩壊のプロセスは500年続きました。今日の状況との違いは、今日の変化のプロセスが偉大なローマ帝国の時代よりもはるかに速いことです。

**カールソン:**しかし、AI 帝国はいつ始まるのでしょうか?

**ウラジーミル・プーチン:**あなたは私をますます複雑な問題に突入させています。答えるためには、人工知能の分野、多数の分野の専門家である必要があります。

人類は多くの脅威を抱えています:超人、特別な人、人間の戦士、人間の科学者、人間のアスリートを生み出すことができる遺伝学の分野の研究。今、彼らは、米国では、イーロンマスクがすでに誰かの脳にチップを埋め込んでいると言います。

**カールソン:**これについてどう思いますか?

**ウラジーミル・プーチン:**マスクは止められないと思います - 彼はまだ必要だと思うことをするでしょう。しかし、どうにかして彼と交渉し、彼を納得させる方法を探さなければなりません。頭がいい人だと思うので、きっと頭がいい人だと思います。このプロセスは、いくつかの規則に従って、列聖されるべきであるということに、何らかの形で彼に同意する必要があります。

もちろん、人類は、遺伝学や人工知能の最新の研究や技術の開発に関連して、人類がどうなるかを考える必要があります。何が起こるかをおおよそ予測することが可能です。それゆえ、人類が核兵器によって自らの存在が脅かされると感じたとき、核兵器の不注意な使用が完全な破壊につながることを理解したため、核兵器のすべての保有者は互いに合意し始めました。

人工知能や遺伝学、あるいは止めることのできない他の近代的な分野の無制限で制御不能な発展が、人類から火薬が何であるかを隠すことは不可能であり、あれやこれやの研究を止めることが不可能であるのと同じように、この研究は依然として行われると理解されるとき、この研究は依然として行われますが、人類が脅威を感じる時、そして、これをどのように規制するかについて、州間レベルで合意する時が来ると思います。

**カールソン氏(以下、カールソン):**本日はありがとうございました。もう1つお伺いします。

エヴァン・ゲルシュコビッチ(32歳)はアメリカのジャーナリストで、1年以上投獄されており、これはアメリカでは大きな話題になっています。お聞きしたいのですが、善意のしるしとして釈放し、米国に連れて行く準備はできていますか?

**ウラジーミル・プーチン:**私たちはあまりにも多くの善意のジェスチャーをしてきたので、すべての限界を使い果たしたと思います。私たちの善意のジェスチャーに、同じようなジェスチャーで応えた人は誰もいません。しかし、原則として、パートナーの側で相互運動が発生した場合にこれを行う可能性を排除しないと言う準備ができています。

そして、私が「パートナー」と言うとき、まず第一に、特別なサービスの代表者を意味します。彼らは互いに連絡を取り合い、このトピックについて話し合っています。この問題を解決しないというタブーはありません。私たちはそれを解決する準備ができていますが、特別なサービス間のパートナーチャンネルを通じて議論されている特定の条件があります。これについては、同意することは可能だと思います。

**カールソン:**もちろん、何世紀にもわたって、あらゆることが起こってきました - ある国がスパイを捕まえ、拘留し、そして彼を他の誰かと交換します。もちろん、それは私の仕事ではありませんが、違いは、この人物は間違いなくスパイではなく、ただの子供だということです。そして、彼はあなたの法律に違反したかもしれませんが、彼はスパイではありませんし、確かにそうではありませんでした。もしかしたら、彼は別のカテゴリーにいるのかもしれませんが。それと引き換えに他の誰かに頼むのは不公平でしょうか?

**ウラジーミル・プーチン:**スパイとは何か、何がスパイでないかについて、言いたいことは何でも言えますが、法律で定められていることがあります。人が秘密情報を入手し、それを陰謀に基づいて行う場合、これはスパイ活動と呼ばれます。彼は秘密の秘密情報を受け取り、それを陰謀的に実行したのです。もしかしたら、彼が引きずり込まれたのかもしれないし、誰かが彼をこの事件に引

きずり込んだのかもしれないし、もしかしたら彼は自分のイニシアチブで不注意にすべてをやったのかもしれない。しかし、実際には、それはスパイ活動と呼ばれています。そして、この情報を受け取ったときに現行犯逮捕されたため、すべてが証明されています。これらがこじつけで、発明された、証明されていないものだったら、話は別です。彼は共謀罪で機密情報を入手し、現行犯逮捕された。あの、なんだろう。

**カールソン:** 彼はアメリカ政府や NATO のために働いていたということですか、それとも、彼の手に入るべきではない情報を受け取ったジャーナリストに過ぎないのですか?この 2 つのカテゴリには違いがあるように思います。

**ウラジーミル・プーチン:** 彼が誰のために働いていたのかは知りません。しかし、もう一度繰り返させてください:陰謀に基づいて秘密情報を入手することはスパイ活動と呼ばれ、彼は米国の諜報機関や他のいくつかの機関の利益のために働いていました。彼がモナコで働いていたとは思わないし、モナコがその情報に興味を持っているとは思えない。合意に達するのは特殊部隊次第です。そこには一定の進展があり、私たちの意見では、特別なサービスとは関係のない人々がいます。

聞いてください、私はあなたに言います:愛国的な理由で、ヨーロッパの首都の 1 つで盗賊を排除した、米国の同盟国である国に座っている男がいます。彼(盗賊)がコーカサスでの出来事の間は何をしていたか知っていますか?言いたくはないが、彼は捕虜になった兵士たちを道路に乗せ、彼らの頭上を車を走らせた。それはどんな人で、人ですか?しかし、ヨーロッパの首都の 1 つで彼を清算した愛国者がいました。彼が自発的にやったかどうかは別の問題です。

**カールソン:** エヴァン・ゲルシュコビッチはそのようなことは何もしていませんが、それは全く別の話です。

**ウラジーミル・プーチン:** 彼は何か違うことをしました。

**カールソン:** 彼はただのジャーナリストです。

**ウラジーミル・プーチン:** 彼は単なるジャーナリストではありません。陰謀を企てて機密情報を入手したジャーナリストです。ええ、はい、それはまったく別の話です。

私が言っているのは、刑務所のどこにいても、実際、アメリカ当局の支配下にある人々のことであり、特殊機関の間では対話があるのです。これは、静かに、落ち着いて、専門的に行う必要があります。私たちには連絡先があります、彼らを働かせてください。

あなたがおっしゃったゲルシュコビッチ氏が、祖国にたどり着く可能性を排除するつもりはありません。なぜ駄目なのですか。多かれ少なかれ、彼をロシアの刑務所に閉じ込めておくのは意味がない。しかし、アメリカ側の諜報機関の同僚たちにも、諜報機関が直面している問題を解決する方法を考えてもらいましょう。私たちは交渉に口を閉ざしているわけではありません。また、これらの交渉は進行中であり、合意に至ったケースも少なくありません。私たちは今、合意に達することができますが、合意に達する必要があります。

**カールソン:** リリースしてほしいです。大統領、どうもありがとうございました。

**ウラジーミル・プーチン:** 最後には彼に帰国してもらいたい。私は真摯に、完全に話します。しかし、繰り返すが、対話は続いている。こういうことを公表すればするほど、解決は難しくなります。すべてが落ち着いているはずですが。

**カールソン:** 正直なところ、戦争がうまくいくかどうかはわかりません。もしよろしければ、もう 1 つ質問させていただきます。

戦略的な理由から答えたくないのかもしれませんが、ウクライナで起きていることが、もっと大きく、もっと恐ろしいことにつながるのではないかと心配していませんか?そして、例えば米国に電話して「合意に至ろう」と言う準備はどの程度あるのか、やる気はあるのか。

**ウラジーミル・プーチン:**聞いてください、私たちは話し合いを拒否しなかったと、私はすでに言いました。我々は拒否していない - これは西側であり、ウクライナは確かに今日の米国の衛星国だ。それは明らかです。確かに、これが誰かに対するある種の悪口や侮辱のように聞こえたくありませんが、何が起きているのかは理解できます。

720 億ドルの財政支援が行われ、ドイツは 2 位、他のヨーロッパ諸国は数百億ドルがウクライナに送られています。大量の武器が流れてくる。

ウクライナの現在の指導部に、耳を傾け、交渉し、あなたの愚かな法令や法令を取り消し、座ってお互いに話し合おうと伝えてください。私たちは拒否しませんでした。

**カールソン:**はい、あなたはすでにこれについて言及しています。もちろん、これが呪いの言葉ではないことはよく承知しています。実際、ウクライナは、ワシントンの命令で行動した元イギリス首相の要請で、和平に署名することを許されなかったと報じられた。ですから、ウクライナのゼレンスキー政権を支配するバイデン政権と直接、こうした問題に向き合ってみませんか。

**ウラジーミル・プーチン:**もしウクライナのゼレンスキー政権が交渉を拒否したのなら、ワシントンの指示で交渉したという事実から話を進めます。もしワシントンが、これが間違った決定だと分かたら、彼らにそれを放棄させ、誰にとっても不快にさせない微妙な口実を見つけさせ、この解決策を見つけさせればいい。私たちがこれらの決定を下したのではなく、彼らが拒否したとしても、彼らが決定を下したのです。それです。

しかし、彼らは間違った決断をしたので、今、私たちはこの間違った決断から抜け出す方法を探し、尻尾を上げ、彼らの間違いを正さなければなりませんか?彼らはそれをやった、彼らにそれを訂正させなさい。私たちは皆、それに賛成です。

**カールソン:**私はあなたを正しく理解していることを確認したいのです。言い換えれば、ウクライナで起きていることの解決策を交渉したいということですよ?

**ウラジーミル・プーチン:**その通りです。しかし、私たちはこれを達成し、イスタンブールで大きな文書を作成し、ウクライナ代表団の団長がイニシャルを付けました。彼の署名はそこにあり、この条約からの抜粋はすべてではなく、抜粋にあります。彼は署名をし、「我々は署名する準備ができていた。戦争はとっくの昔に、1 年半前に終わっていただろう。しかし、ジョンソン氏がやってきて、私たちに話しかけたので、私たちはそのチャンスを逃してしまいました」まあ、彼らはそれを見逃し、間違いを犯しました - 彼らにそれに戻らせてください、それだけです。しかし、なぜ他人の間違いをわざわざ修正する必要があるのでしょうか?

私が言ったように、2014 年にドンバスで武器の助けを借りて始まったこの戦争を終わらせることを決めたのは、私たちの間違いだったと私たちは理解しています。しかし、すでに述べたように、さらに話を戻して、これについて話し合ったばかりです。そして、NATO を拡大しないと約束された 1991 年に戻り、NATO への門が開かれた 2008 年に戻り、中立国を宣言したウクライナ独立宣言に戻りましょう。NATO とアメリカの基地、イギリスの基地がウクライナの領土に出現し始め、私たちにこれらの脅威をもたらしたという事実に戻りましょう。2014 年にウクライナでクーデターが起きたという事実に戻そう。無意味ですよ?このボールを無限に転がすことができます。しかし、彼らはまた話すのをやめました。エラー。はい。修正してください。用意ができました。他には。

**カールソン:**NATO が、2 年前にウクライナ領土だったものをロシアが支配したことを認めるのは、あまりにも屈辱的だと思いませんか?

**ウラジーミル・プーチン:**さっきも言ったように、彼らにそれを適切に行う方法を考えさせてください。選択肢はありますが、それは欲求がある場合に限ります。

今まで、彼らは騒いで叫んでいた:ロシアの戦略的敗北、戦場での敗北を達成する必要がある...し

かし、今、どうやら、これは不可能ではないにしても、簡単にはできないという認識が来ています。私の意見では、これは定義上不可能であり、決して起こらないでしょう。今や、このことに気づいたのは、欧米の権力を支配している連中のようだ。しかし、もしそうであれば、そしてそのことに気づいたのなら、次に何をすべきかを今すぐ考えてください。我々は、この対話の準備ができています。

**カールソン:**例えば、NATO に対して、おめでとう、勝利した、今の状況をそのままにしておこう、と言う準備はできていますか。

**ウラジーミル・プーチン:**ご存知の通り、これは誰も我々と交渉したくない、より正確には、彼らはやりたがっているが、その方法がわからない交渉のテーマです。私は彼らが何を望んでいるのかを知っています - 私はそれを見るだけでなく、彼らがそれを望んでいることも知っていますが、彼らはそれを行う方法を理解できません。彼らはアイデアを思いつき、私たちに現在の状況に導いてくれました。これをもたらしたのは私たちではなく、私たちの「パートナー」と敵対者です。さて、今度は彼らにそれを反対方向に向ける方法を考えさせてください。お断りはしません。

そんなに悲しくなかったらおかしいのに。ウクライナでのこの終わりのない動員、ヒステリー、国内問題、これらすべて...遅かれ早かれ、私たちは合意に達するでしょう。そして、あなたは何を知っていますか?今日の状況では奇妙に聞こえるかもしれませんが、いずれにせよ、人々の間の関係は回復するでしょう。時間はかかりますが、回復します。

珍しい例をいくつか挙げてみましょう。戦場での衝突、具体例:ウクライナ兵が包囲されている - これは現実の、敵対行為からの具体例である - 我々の兵士は彼らに叫んでいる:「チャンスはない、降伏!出てこい、お前は生きている、降伏しろ!」そして突然、ロシア語で「ロシア人は降伏しない!」と叫び、全員が死んだ。彼らはまだロシア人だと感じています。

この意味で、今起きていることは、ある意味、内戦の要素である。そして、西側諸国の誰もが、この戦闘はロシア国民の一部を永遠に引き裂いたと考えている。いいえ。同窓会が開催されます。どこにも行っていません。

なぜウクライナ当局はロシア正教会を略奪しているのか?なぜなら、それは領土ではなく魂を結びつけるものであり、誰もそれを分割することはできないからです。

終わらせようか、それとも他の何か?

**カールソン:**それが私のすべてです。

大統領、どうもありがとうございました。